

南房総・館山地域
公共ライドシェア
実績報告及び今後について

【利用実績】 (R7.4-R8.4・稼働日数370日間)

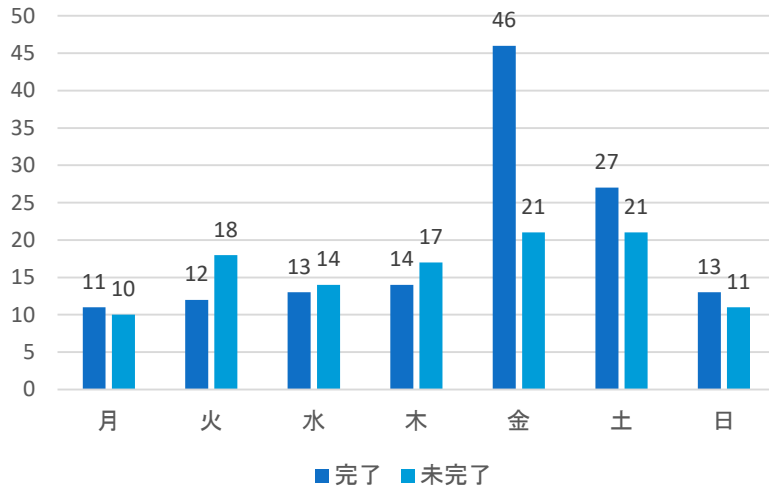
項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	累計	4-3計	2-4計	
運行日数		16	23	30	31	30	28	31	30	31	31	28	31	30	370	340	89	
登録ドライバー数		6	3	5	9	2	0	0	0	1	0	0	0	0	26	26	0	
配車依頼回数		8	13	28	26	16	15	15	23	27	13	21	28	15	248	233	64	0.719101
運行利用実績		1	4	20	14	11	5	5	14	16	11	20	15	8	144	136	43	0.483146
キャンセル回数	未配車等	7	8	2	7	3	8	5	4	5	0	1	9	4	63	59	14	
	利用者都合	1	1	6	5	2	2	5	5	6	2	0	4	3	42	39	7	
配車アプリ登録数	登録数	48	60	54	59	59	53	48	53	48	65	43	26	37	653	616	106	
	ダウンロード数	79	95	84	89	89	79	82	66	97	91	55	52	44	1002	958	151	
事故・トラブル		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
運賃収入		1,020	9,500	50,860	28,600	15,150	8,930	10,850	15,500	20,470	26,560	28,950	22,390	12,900	251680	238780	64240	
(報酬相当額)		612	5,700	30,516	17,160	9,090	5,358	6,510	9,300	12,282	15,936	17,370	13,434	7,740	151008	143268	38,544	
主な乗車地	JR館山駅周辺	1	3	17	11	10	3	5	11	10	15	13	12	4	115	111	29	
	南房総市内		1	2	1	1	1		1	2		4	3	3	19	16	10	
	安房地域医療センター			1											1	1	0	
主な目的地	館山市内	1	3	13	12	9	4	4	13	14	13	17	12	5	120	115	34	
	南房総市内			7	2	2	1	1	1	2	2	4	3	3	28	25	10	
	鋸南町内		1												1	1	0	

【利用実績】 (曜日別、時間帯別、運賃別 R7.4月～R8.4月)

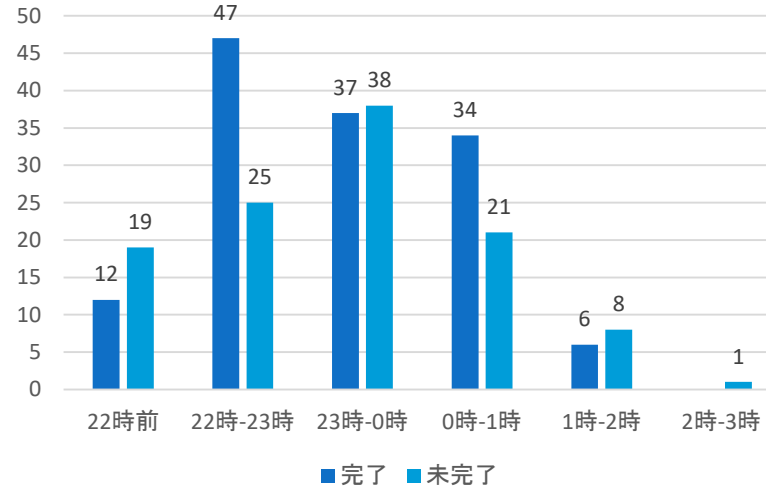
※未完了(キャンセル又は未配車)

- ・完了実績の1日平均は0.38回、配車依頼は0.67回。
- ・完了実績の曜日別は、これまで同様に金曜日が最も多い。(※0時以降の利用は前日の曜日でカウント)
- ・配車依頼実績の時間帯別では、実績は22時台が最も多く、依頼は23時台が多い。
- ・完了実績の運賃別では、近距離利用が多かった。運賃の幅は、570円～6,780円。

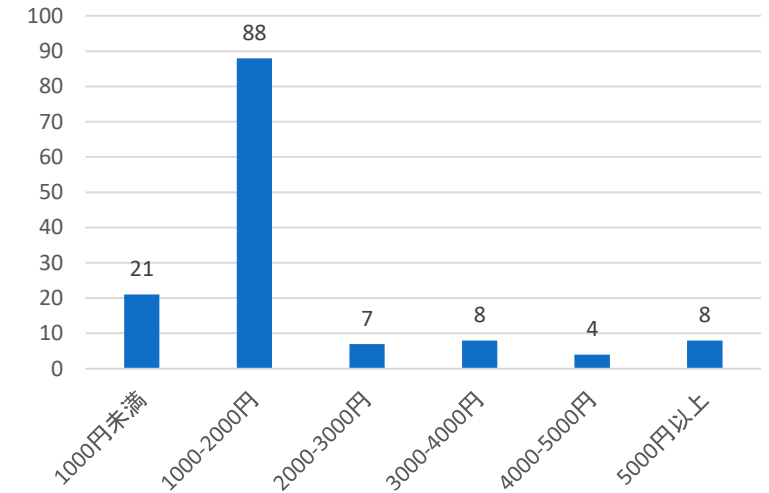
配車依頼(回数)実績



配車依頼(時間)実績



運賃別(完了のみ)

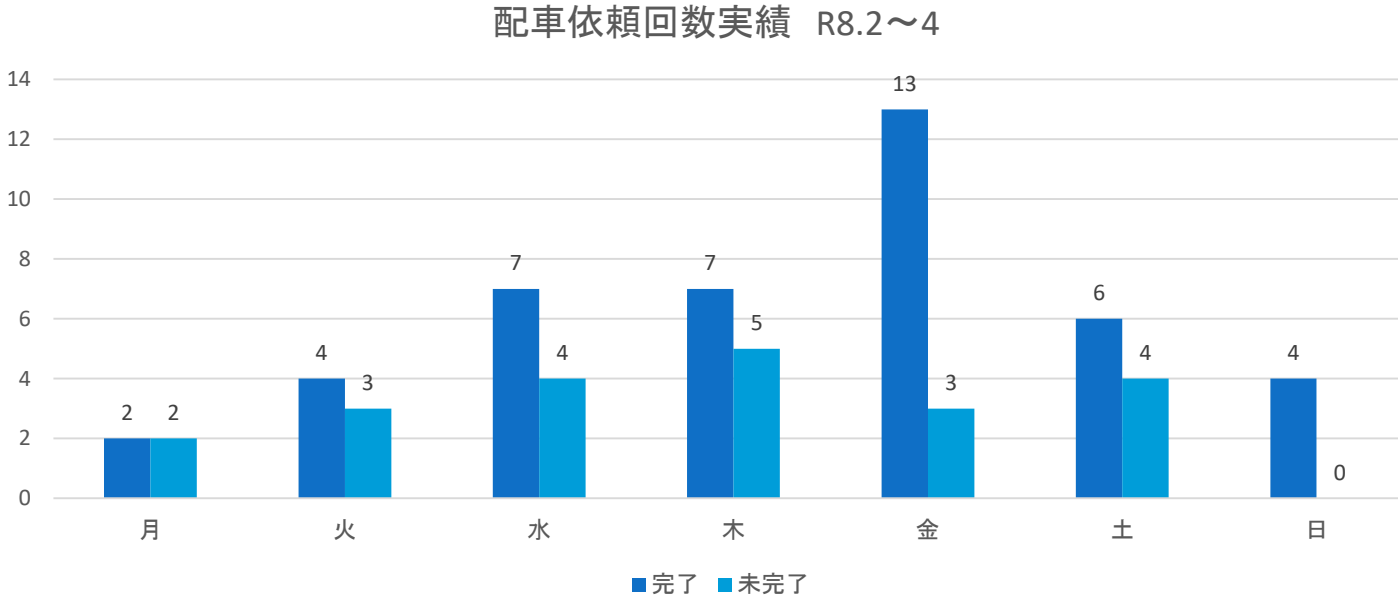


【課題】

- ・ドライバー不足により、需要に応えきれず、配車率が約6割(58%)となっている。
- ・周知不足もあり、SNS等での情報発信後には利用が増える傾向にある。

【今後の実証運行について】

前回会議において、期間中の利用が0.66人/日以上でなければ、実証運行を実施しないとしたが、特定の曜日に利用が集中しており、曜日を絞って交通空白時間帯の解消を目指したい。



- ・検証期間中の利用は、金曜日が最も多く、続いて木曜日と週末にかけての利用が多くなっている。
- ・配車未完了と完了を含めると、木、金が多くなっているため、再度実証を検討したい。
- ・上記曜日での利用実績は、0.7人/日となっている。
- ・アプリのダウンロード数は約1,500件となっており、潜在的顧客がいることが想定される。

- ①実証運行の曜日は、配車依頼の多い、木、金、土曜日とする。(集計期間中は水曜日の利用が多かったが、全体を見ると土曜日が多いため)
- ②夜間の交通空白解消を目指すため、周知期間(課題の周知不足解消のため)を設けた上で、配車率100%を目標とする。
※公共ライドシェアとしての側面を考えると、赤字だとしても交通空白の解消を目指す。
- ③実証期間は7月~12月の半年間とし、7月~9月を周知期間、10月~12月を集計期間とする。
- ④実証期間内のドライバー確保のため、運行期間を短縮して余った予算から、昨今の燃料費高騰対策として、自宅以外で待機の場合に、1回500円/日を補償する。(課題のドライバー不足解消のため)
- ⑤実証の結果、現状の配車率の改善が見られる場合は、必要経費を検討した上で、本格運行を再検討、改善が見られない場合は、タクシー借上げを代替案として検討する。